

ワイヤレスキット据付説明書

PJF012D009

警告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

注意

●受信部に、直射日光や、強い照明等の光があたらないところに据え付ける。
●元電源を切った後に電気工事をする。感電、故障や動作不良の原因になります。

お願い

・取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかたをご指導ください。
・エアコン本体およびパネルの据付方法につきましてはそれぞれに同梱してあります据付説明書をご覧ください。

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

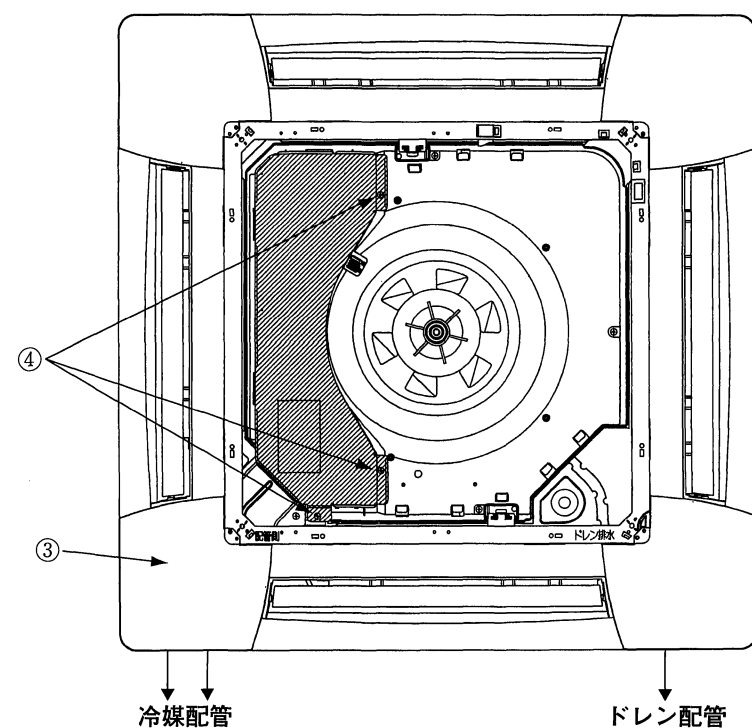
受信部		1	リモコン用ホルダー		1
リモコン		1	木ねじ		2
パーツセット		1	単4乾電池 (R03)		2

② 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナパネルと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

- 化粧パネルを付属のパネル据付説明書に従ってエアコン本体に取付けてください。
- 吸込グリルを外してください。
- 冷媒配管側のコーナパネルを外してください。
- ねじ(3本)を外して、エアコン本体のコントロールボックスのカバー(斜線部)を外してください。



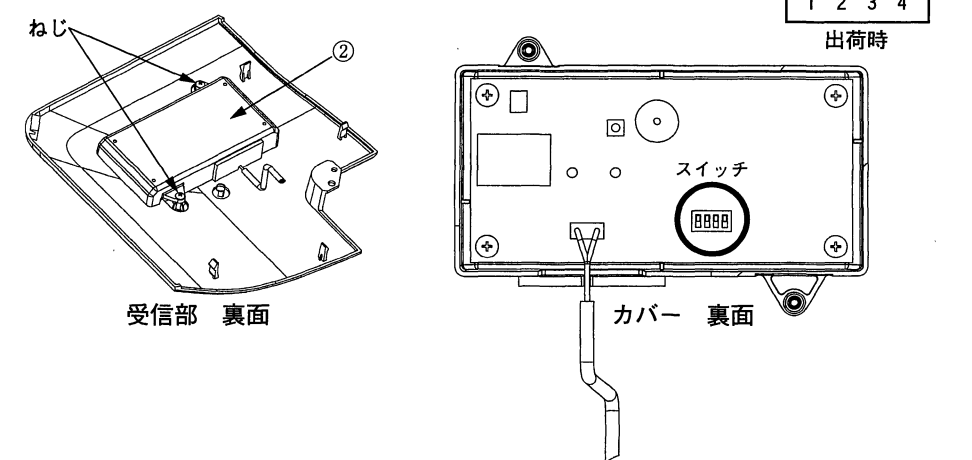
現地設定

①受信部基板上のスイッチの設定は以下の通りです。
なお、出荷時の設定は□で囲まれた方になっています。

SW1	混信による誤動作防止	ON: 通常 OFF: 切換
SW2	受信部の親子切換	ON: 親 OFF: 子
SW3	ブザー音の有無	ON: 有り OFF: 無し
SW4	停電補償	ON: 有効 OFF: 無効

<設定を変更する場合>

- 受信部裏面のねじ(2本)を外し、カバーを取外してください。
- カバー裏面の基板上的のスイッチを変更してください。



④SW1をOFFにする場合はリモコン側も以下のように設定変更してください。

リモコンの設定変更

「風向」ボタンを押しながら「リセット」スイッチを押すか、「風向」ボタンを押しながら電池を投入すると設定が混信防止設定へ切り換わります。

ご注意

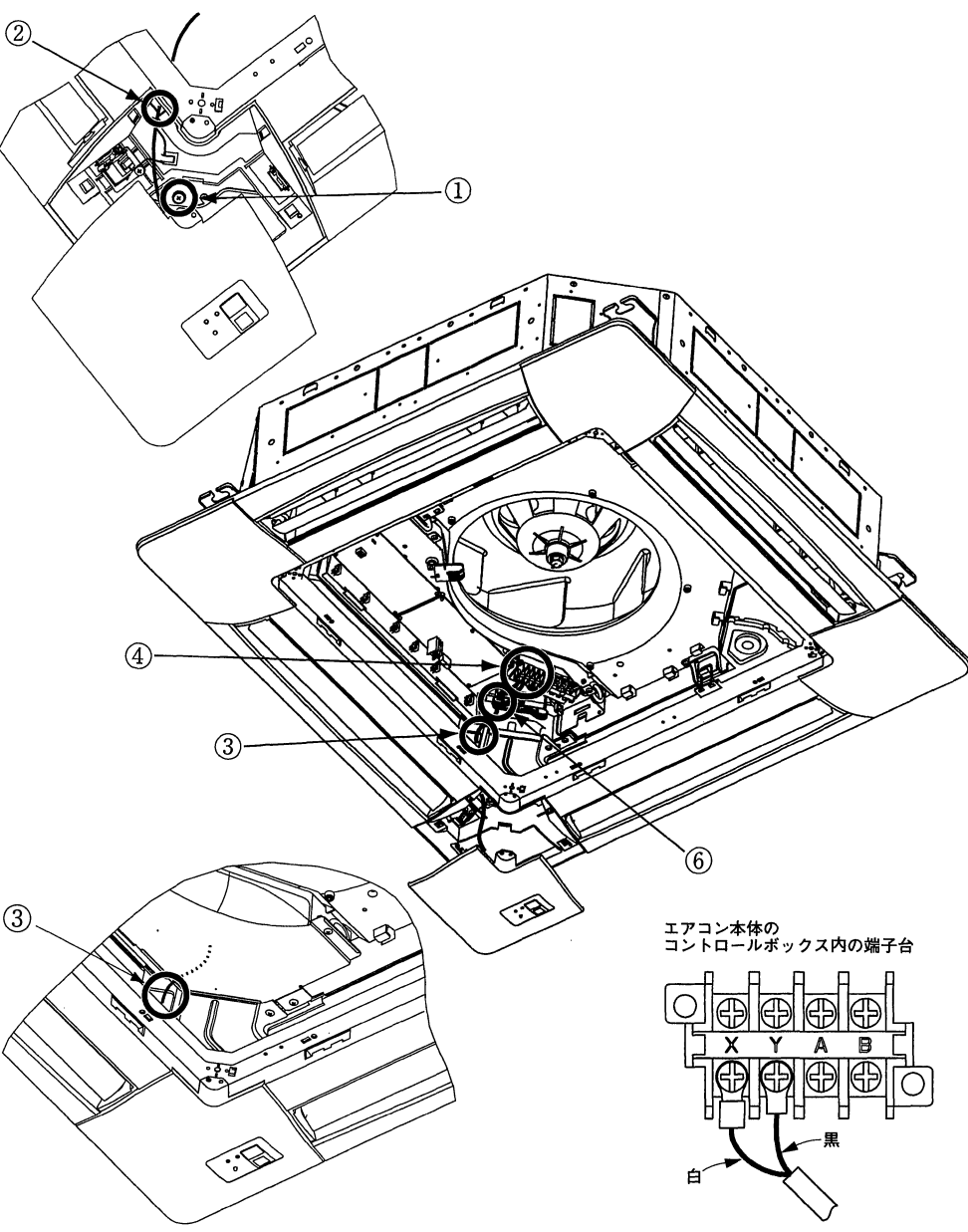
※一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

お願い

上記操作方法を必ずお客様に説明してください。(操作方はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。)

受信部の取付

- パネル吊りボルトをゆるめて、パネルと本体との隙間を開けてください。
 - 受信部の配線を開口部に通してください。
 - 配線を下図の如くユニットのコントロールボックスのカバーとドレンパンの隙間を通して入れてください。
 - 配線先端をコントロールボックス中の端子台にX-白、Y-黒となるように接続してください。
 - 受信部をパネル据付説明書に従ってパネルに取付けてください。
 - コントロールボックスの板金のエッジに当たらないように配線をクランプで固定してください。
 - コントロールボックスのカバーを外したねじ(3本)を用いて取付けてください。
- ※ご注意: 取付の際、配線をはさまないようにしてください。



裏面へつづく

PJF012D009

③ リモコン

リモコンホルダーの据付

お願い
次の位置は避けてください。
1) 直射日光の当たる場所
2) 発熱器具の近く
3) 湿気の多い所・水のかかる所
4) 取付面に凸凹がある所

ホルダー取り付け時の注意
・垂直になるよう、調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取り付けしないでください。

電池の入れ方

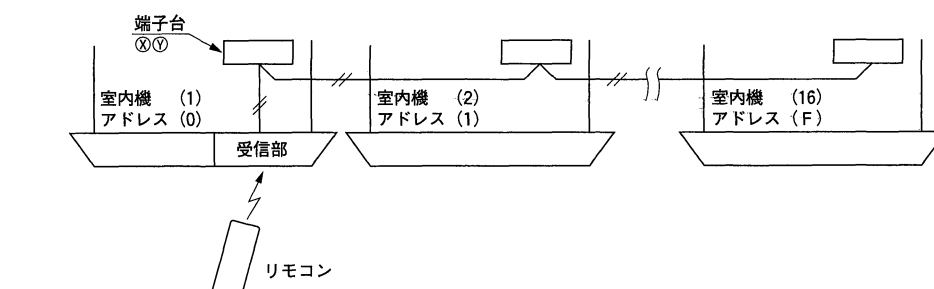
- 裏アタを外します。
- 乾電池を入れます。(単四 2本)
- 裏アタを取り付けます。

④ リモコンによる複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

- 各室内ユニット間を2心の渡り線にて配線してください。渡り線については下記を参照願います。
- 店舗シリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「0」～「F」に設定してください。

渡り線の太さと、長さの制限(最大総長600m)	
標準	0.3mm×100m以内
	0.5mm×200m以内
	0.75mm×300m以内
	1.25mm×400m以内
	2mm×600m以内



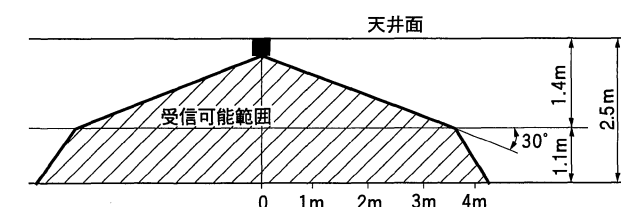
- ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチSW1、SW2、ディップスイッチSW5-2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「000」～「127」設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

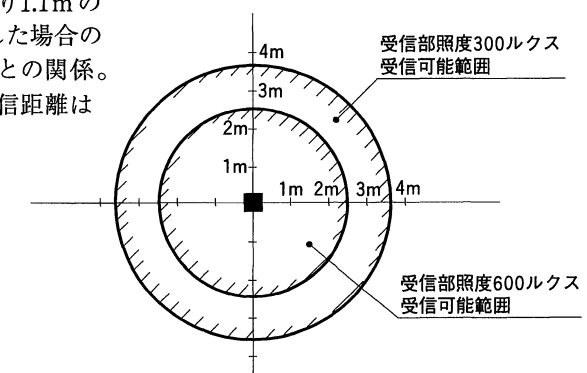
1つのグループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。その際は2つのワイヤレスキットのいずれか一方の受信部の基板上的SW2をOFFにし、子機設定とする必要があります。
(切り換えは、本説明書「②受信部の取付」の「現地設定」をご覧ください。)

ワイヤレスリモコンの操作距離

- 標準的な受信距離
【条件】受信部照度300ルクス
(一般事務所等PAC周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



- 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
【条件】天井高さ2.5m、床面より1.1mの高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。



- 複数台近接設置時の注意
【条件】受信部照度300ルクス
(一般事務所等PAC周辺1m以内の天井面に照明がない場合)
【複数台近接設置】リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は5mです。

⑤ 自動運転の設定変更

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ(除く冷暖フリーマルチ)は、自動運転ができません。これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。

「運転切換」ボタンを押しながら「リセット」スイッチを押すか、「運転切換」ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

注意

※一度電池を取り外すと初期設定(自動有効設定)に戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

お願い

上記操作方法を必ずお客様に説明してください。(操作方はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。)

⑥ 自動昇降パネル

電源周波数の設定変更

自動昇降パネルに取り付け時は、リモコンの電源周波数設定を必ず行ってください。(初期設定は60Hz)

- 「フィルター」ボタンと「風量」ボタンを同時に3秒以上押しと周波数設定モードになります。
- 設定温度表示部に現在の周波数設定が点滅表示されます。
- 「△」ボタンを押すと「60」表示となり、「▽」ボタンを押すと「50」表示となります。
- 周波数設定後、フィルターボタンを押すと、周波数が確定され、室内ユニットにデータが送信されます。約2秒間設定された周波数が点灯した後、元の表示に戻ります。

グリル降下長さの設定

自動昇降パネルのグリル降下長さの設定は、ワイヤードリモコンを室内ユニットに接続して行ってください。詳細はパネルに同梱されている据付説明書を参照してください。(初期値は2.0m)

※一度設定した後は、室内ユニットのコントローラのマイコンが記憶するため、ワイヤードリモコンを接続し続ける必要はありません。

⑦ バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備しています。ワイヤレスリモコン操作ができない場合(電池切れ、紛失、故障)に急ぎに使用してください。操作は手で直接行ってください。

- 停止中に押すことにより自動モード(冷房は冷房モード)で運転します。
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
- 運転中に押すことにより「停止」します。
- 2秒以上押し続けてから離れた場合、自動昇降パネル上昇となります。

⑧ 冷房試運転操作

- 安全を確認して元電源を投入してください。
- 受信部バックアップスイッチを押しながらリモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付けの結線緑板の点検表示を参照し、点検してください。

⑨ 2桁表示の見方

受信部は2桁表示(7セグ)を装備しています。

- 表示は電源投入後1時間表示します。
- リモコンから「停止」送信又は、バックアップスイッチ「停止」操作後3分間表示します。
- 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
- 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
- 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。